

豊和村づくり協議会第2回総会議案

2019年4月14日（日）
豊和コミュニティーセンター



- 1 代表あいさつ
- 2 来賓あいさつ
- 3 2018年度の報告・質疑
- 4 基金の使用状況の報告・承認
- 5 2019年度役員を選出
- 6 その他

I 2018年度の報告

1 協議会開催状況と協議事項

○2018年5月13日

- ①村づくり基金協力設備への看板の設置について
- ②ホームページの作成と会報の発行について
- ③協議会の運営方法と経費等について
- ④基金の支出について協議
 - ・開畑の犬屋敷跡地のゴミ処理に対して50万程度使用することとした。
 - ・小学校の要望を受けてPCモニター用テレビを寄贈することになった

○2018年7月8日

- ①SOSAプロジェクトが移住者と地域との交流を目的として取り組んでいる「ホテルを愛でる会」への協賛について
- ②小学校で行われている盆おどりについて
- ③運動会や地区民大会等で活用するテントの購入について
- ④開畑で行われている「ソラシア収穫祭」について
 - ・協議会として共催することになった。協賛金として30万。
- ⑤鎌田氏（農水省再生可能エネルギー室長）の講演会について
 - ・飯塚開畑環境保全会と共催して取り組むことになった

○第3回協議会 2018年9月9日

- ①会報の発行について
- ②テントの購入について
- ③ソラシア収穫祭について
- ④豊和地区社会福祉協議会の「ふれあいバスハイク事業」への支援について
 - ・26万円の支援希望があり了承された。
- ⑤「放課後教室」へのエアコン設置について
 - ・市役所として設置の方向になったとのことで、検討は見送った。

○第4回協議会 2018年11月3日

- ①豊葉会のハッピーの購入について
- ②会報の名前について

○第5回協議会 2019年1月15日

- ①開畑の犬屋敷跡地とその周辺の清掃活動について
- ②時期メンバーについて
- ③総会について
- ④今後の基金の活用についてのフリー討論

<今後の課題として出された主な意見>

○継続的に取り組まれるものについては予算化も必要ではないか

＊収穫祭、豊和地区社協の「ふれあいバスハイク」、「ホテルを愛でる会」(SOSA プロジェクト) などがあるのでは。

○当面は物品の購入への支援が多くなるのはやむを得ないとしても、長期的には地域での自主的な活動への支援に軸足を移していくことが必要ではないか。
→→とはいっても、自主的な活動が、以前は少年野球やミニバスがあったが、今は殆どない。

○豊和への移住者が家を購入、賃借や補修する場合に補助金を出す等、移住者への支援を検討してはどうか

○中長期的な課題として、地域のための活動を行おうとしている事業へ支援する仕組み、基金を作ってはどうか?→→独居高齢者世帯への買い物サービスへの支援なども考えられるのではないか

Ex: 事業立ち上げのための資金を貸与、経営が安定したら基金に協力をしてもらおう。

○移住者と地元の人との交流の場を協議会として持ってはどうか。

○小学校の入学児童にお祝い金(支援金)をだしてはどうかという意見もあったが、趣旨から少しずれるのではという慎重論が出て、保留となった。

2 村づくり基金の使用状況

村づくり基金から支援、支出した主なものは以下のとおりです。

- ①豊和小学校へのPCモニターの寄贈・・・28万円
- ②ホテルを愛でる会への支援・・・5万円
- ③豊和地区社協の「ふれあいバスハイク」への支援・・・26万円
- ④豊和地区のテントの購入・・・22万円
- ⑤豊葉会のハッピー・・・26万円
- ⑥ソーシェア収穫祭共催金・・・30万円
- ⑦鎌田さん講演会・・・2万円

3 参加団体・個人と役員

1) 参加団体・個人

飯塚開畑環境保全会、北総東部土地改良区飯塚分区、SOSAプロジェクト、豊和小学校 豊和小学校PTA、飯塚区、大寺区、内山区、青少年相談員、豊葉会、農業委員、豊和地区社協、市民エネルギーちば合同会社、匠瑳ソーラーシェアリング合同会社、Three little birds 合同会社

2) 役員

代 表	椿 日出男（飯塚開畑環境保全会）
副代表	栖関 実（北総東部土地改良区飯塚分区）
副代表	向後 勝弘（飯塚区長）
副代表	高坂 勝（SOSAプロジェクト）
会計監査	林 一吉（内山区長）
会計・事務局	椿 茂雄（匠瑳ソーラーシェアリング合同会社）

II 2019年度の基金の運営、活用について

1 基金への拠出について

4月1日現在で設置（稼働）している設備への要請を原則とし、年度の途中に設置（稼働）された設備については年度末までの稼働期間を按分した金額についてお願いすることとします。

2 昨年、支援してきた事業・活動で今期以降も計画されているものについては、継続して支援していくこととし、支援、補助金額については昨年の金額をベースに協議会で協議して決めることとします。

3 基金の周知と地域の要望やニーズを把握し、有効に活用を進めて行きます。

4 移住者と地域の人との交流の場や機会づくりを進めて行きます。

5 ホームページ等を活用して協議会の協議内容の周知に努めて行きます。

6 事務局体制の強化を進めて行きます。

III 次期役員について

代 表	椿 日出男（飯塚開畑環境保全会）
副 代 表	栖関 実（北総東部土地改良区八日市場工区飯塚分区）
副 代 表	越川 秀昭（内山区）
副 代 表	高坂 勝（SOSAプロジェクト）
会計監査	寺本 幸一（飯塚区）
事務局・会計	椿 茂雄（匠瑳ソーラーシェアリング）

村つくり基金収支報告

＜収 入＞	
基金収入	2,650,000
預金利子	8
合計	2,650,008
＜事業支出＞	
藻谷さん講演会	15,000
犬屋敷等のゴミ処理	513,000
豊和小、PCモニター	285,944
ホテルを愛でる会	50,000
社協バスハイク	260,000
テント購入	224,478
豊葉会ハッピー	259,200
ソラシェア収穫祭	300,000
鎌田さん講演会	22,360
小 計	1,929,982
会報発行費	24,694
事務経費	56,060
その他経費	107,810
小 計	188,564
合 計	2,118,546
＜次年度繰越金＞	531,462

＜会計監査報告＞

豊和村つくり基金の2018年3月24日から2019年3月31日までの使用状況について監査した結果、収支報告にあるとおり正當に処理されていることを報告します。

2019年4月 / 日

内山 区長 林 一吉 